

会派先進地視察報告書

- ◇ 11月18日（水）「八戸市」
ごみ減量の取り組みについて
- ◇ 11月19日（木）「函館市」
議会活性化の取り組みについて

2015年 11月

知多市議会「市民クラブ」

視察報告書

日 時	平成27年11月18日（水）午前9時から午前11時まで
視 察 先	青森県八戸市
視 察 項 目	ごみ減量の取り組みについて
視 察 者	市民クラブ（夏目 豊、荻田信孝、島崎昭三、古俣泰浩、藤井貴範、林 正則）
視 察 内 容	<p>八戸市では、平成8年、17年にごみ処理基本計画を策定し、18年に市・事業者・市民が一体となってごみの減量とリサイクル推進の実現を目指す循環型都市宣言を行い、9月からは廃食用油の利活用事業の開始、19年4月からは家庭から出る厚紙などのその他紙を分別品目に追加している。また、20年4月からは事業系の紙ごみの搬入規制を行うなどごみの減量化と資源物の分別促進に取り組んでいる。そこで、家庭系ごみの有料収集、ごみ減量推進員、ボランティア用ごみ袋などの具体的な取り組みについて視察した。</p> <p>家庭系ごみの有料収集は、平成13年から他都市の例などを参考に市民の負担額を考慮し、45リットル袋30円、30リットル袋20円で開始し、その後、小型袋の要望を受けて20リットル袋15円を追加している。なお、同市では1枚目から有料である。</p> <p>ごみ減量推進員は、ごみの減量化、再利用及び再資源化の推進に関することなどの地域での周知啓発を職務として、町内会単位で配置されている。また、推進員と市の担当職員によるごみ減量推進懇談会を市内12か所の公民館及び市庁舎において計15回開催し、ごみの減量施策の情報提供と、地域で抱える課題の解決に向けて意見交換を行っている。なお、配置員数は、平成27年10月31日現在で464名である。</p> <p>ボランティア用ごみ袋は、市民等が道路等公共施設の清掃活動を行う場合など、清潔な生活環境を保持するためのボランティア清掃活動を行う際に配布され、ボランティア清掃に対するごみ処理手数料の減免措置を講ずることで、地域における環境美化を図っている。</p> <p>このほかにも、同市では、コンポスト容器購入費補助金制度やリサイクルパートナー制度、廃食用油利活用事業、共同処理における再資源化などごみ減量に向けた様々な取り組みを実施している。</p>
所 感	<p>八戸市では、ごみの減量・分別化を市民とともに実施しており、ごみの減量・分別に関する集中的な普及啓発を目的に、減量講座や啓発チラシの配布を積極的に行っていた。実施場所も公民館だけではなく、中心街やショッピングセンターなど市民に見える化を図っている。配布したチラシについても、啓発内容を確認した後は、大きさや形が均一でない「その他紙」をまとめて入れて排出できる封筒として利用できるよう工夫されていた。</p> <p>また、ごみ袋の有料化の際の販売方法、ごみ袋の製造コストの乱高下への対応、不良品への対応、ごみ袋の形状や価格改定、社会的減免処置といった課題についても状況を確認することができた。</p> <p>市民のニーズを的確に把握して改善につなげており、本市におけるごみの減量や家庭系収集ごみの有料化検討の際に参考となる事例であった。</p>

日 時	平成27年11月19日（木）午前9時から午前10時30分まで
視 察 先	北海道函館市
視 察 項 目	議会活性化の取り組みについて
視 察 者	市民クラブ（夏目 豊、荻田信孝、島崎昭三、古俣泰浩、藤井貴範、林 正則）
視 察 内 容	<p>函館市議会は、平成11年7月に開かれた議会、わかりやすい議会を目指して議会運営委員会の中に「議会改革検討委員会」を立ち上げ、広報委員会の設置や本会議ビデオの貸し出し、議会のホームページの立ち上げに伴う広報・会議録の検索機能の設置、コミュニティFMでの議会広報の実施などの議会改革に取り組んだ。また、18年には「議会改革検討ワーキンググループ」を立ち上げ、常任委員会の見直し、本会議における一般質問・質疑の時間の見直し、議会広報の新聞掲載など、議会本来の機能や役割をいかに発揮するかを視点に議会改革が進められた。さらに、24年度と25年度には議会報告会を開催し、市民に議会がどのように市政に働きかけて意思決定をしているのかを報告したが、市民の関心が低かったこと、また、内容が難しいなどの意見があったことから、26年度には市民の意見を聴くことを中心とし、各委員会別にテーマを絞った懇談会を実施している。このほかに、議員間討議の充実を図った委員会の運営方法の変更や予算決算委員会への全議員参加など、議会における議論経過が明確になる議会運営を目指した議会改革を進めている。</p>
所 感	<p>函館市議会では、議会活性化に向けて数回に渡って議論されてきており、都度、市民に開かれた議会、わかりやすい議会を目指した取り組みが行われていた。</p> <p>本会議での一般質問の取り扱い時期の変更や予算決算委員会での議員の全員参加などの議会改革は、議会での問題点を議員自らが取り上げて改善しており、本市議会においても、積極的な見直しが必要であると感じた。また、平成18年度の議会改革時から、議場・委員会室へのパソコンの持ち込みを許可しており、全国的にも早い対応ではないかと思われる。タブレット議会までは移行していないにせよ、議場・委員会室へのパソコンの持ち込みにより、紙資源の削減も図られているとのことであった。</p> <p>函館市議会の議会報告会は、より多くの市民の参加を目的として平日の夜に開催されていた。本市議会では、同様の目的から休日に開催しているが、どのような開催方法がよいか、引き続き本市にとってよりよい方法を検討していく必要があると感じた。また、議会報告会の内容は、ともに市民への報告という形で実施しているが、本市議会では配付資料と口頭説明のみであるため「わかりにくい」という意見もある。一方で、函館市議会では、パワーポイントも使用して説明しているものの「内容が難しい」という意見もあるとのことであり、説明方法等についても引き続き参加者にわかりやすい議会報告会を目指して検討していく必要があると感じた。</p> <p>本市議会と同様、市民にわかりやすい議会、開かれた議会を目指し、また、本市議会とは異なる取り組みを行っている議会の事例として、今後の議会活性化を検討する上で、参考となる視察であった。</p>